

第1回 施設一体型小中一貫やまと学園準備委員会ワークショップ

令和4年11月30日(水)

18:00~19:30

大和コミュニティセンター

1 開会あいさつ

2 今日の進め方

3 やまと学園のこれまでの取組

(1) 第1回準備委員会(全体会:R4.11.1実施)のふりかえり P1 資料1

(2) やまと学園の教育目標・15歳の大和っ子像 P7 資料2

① 教育目標

確かな学びと、豊かな人間関係を互いに培い、
未来を担う力を備えた子どもの育成

② 15歳の大和っ子像

大和を愛し、未来にはばたく大和っ子

- ・自分が好き、人が好き、大和が大好きな子ども
- ・感謝の気持ちを持ち、さわやかなあいさつができる子ども
- ・夢や希望を持ち、努力を惜しまない子ども

4 ワークショップ「目指す学園像①」

5 次回の案内

令和4年12月21日(水) 18:00~ 大和コミュニティセンター
(参考)

令和4年度のワークショップのスケジュール(予定)

	日程	テーマ
第1回	R4.11.30(水)	目指す学園像①
第2回	R4.12.21(水)	学園の場所
第3回	R5.1月下旬	協働的な学び
第4回	R5.2月中旬	目指す学園像②
第5回	R5.3月下旬	まとめ(ふりかえり)

6 閉会あいさつ

施設一体型小中一貫やまと学園準備委員会委員名簿（第1回ワークショップ参加者）

グループ	氏名	区分	所属等
1	網本 雅彦	保護者	大和中学校PTA会長
	磯部 祥生	教職員	岩田小学校校長
	槻館 真治	保護者	塩田小学校PTA（会長推薦）
	竹安 美男	地域	大和コミュニティ協議会（三輪）
	石田 博文	教職員	束荷小学校（小中一貫教育担当）
	河村 智恵	保護者	三輪幼稚園
2	田中 道太郎	保護者	塩田小学校PTA会長
	品川 和之	教職員	三輪小学校校長
	弘田 靖昌	保護者	岩田小学校PTA（会長推薦）
	脊戸 嘉彦	地域	大和コミュニティ協議会（岩田）
	佐野 三和子	地域	束荷小学校校外コーディネーター
	深田 知子	教職員	大和中学校（小中一貫教育担当）
	遠役 文香	保護者	三輪幼稚園
3	福田 康子	教職員	束荷小学校校長
	田熊 冴子	保護者	大和中学校PTA（会長推薦）
	森本 宏	地域	塩田コミュニティ協議会
	石田 朝子	地域	三輪小学校校外コーディネーター
	山下 美華	教職員	岩田小学校教頭
	西本 裕志	教職員	大和中学校（生徒指導主任）
4	尾崎 佐友里	保護者	三輪小学校PTA（会長推薦）
	徳光 章	地域	束荷コミュニティ協議会
	山本 睦子	地域	塩田小学校校外コーディネーター
	怒和 勝宏	教職員	大和中学校教頭
	藤井 賢子	教職員	岩田小学校（CS担当）
	水野 真由美	保護者	束荷幼稚園
5	藤井 伸浩	保護者	束荷小学校PTA会長
	吉田 哲朗	教職員	塩田小学校校長
	田村 和代	地域	大和コミュニティ協議会（三輪）
	森山 和子	地域	岩田小学校学校運営協議会（学校推薦）
	清水 俊輝	教職員	大和中学校（CS担当）
	松浦 奈美	保護者	束荷幼稚園

グループ	氏名	区分	所属等
6	大田 敏之	保護者	三輪小学校PTA会長
	河本 政之	教職員	大和中学校校長
	住田 裕樹	保護者	塩田小学校PTA（会長推薦）
	矢野 元子	地域	大和コミュニティ協議会（岩田）
	横瀬 理恵	教職員	束荷小学校教頭
	吉田 聡	教職員	塩田小学校教務主任
7	清弘 貴士	保護者	岩田小学校PTA（会長推薦）
	續木 奈緒	保護者	大和中学校PTA（会長推薦）
	吉原 寛	地域	束荷コミュニティ協議会
	山本 珠美	教職員	塩田小学校教頭
	西本 佳子	教職員	三輪小学校教務主任
	河内 歩美	保護者	大和保育園
8	井本 眞明	保護者	岩田小学校PTA会長
	林 優依	保護者	束荷小学校PTA（会長推薦）
	田中 道治	地域	塩田コミュニティ協議会
	平尾 寛	教職員	三輪小学校教頭
	山田 和宏	教職員	大和中学校教務主任
	吉村 沙織	保護者	大和保育園

施設一体型小中一貫やまと学園準備委員会通信

やまとの 未来の学園づくり かわら版

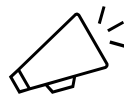
vol.1

日時：令和4年11月1日（火）18:00～20:00

場所：光市立大和中学校体育館



準備委員会は、学校運営協議会、保護者、教職員、地域などから69名の方にご参加いただいています。これからこのメンバーで新しい学園づくりについての意見交換を行います。



今回（第1回）のプログラム

- ・伊藤教育長あいさつ
- ・委員の委嘱、委員長・副委員長選任
- ・講演（準備委員会アドバイザー 松田 靖 氏）
- ・地域資源を活かした特色ある取組の事例紹介
- ・感想をみんなで共有
- ・今後のスケジュール、会議の進め方



これからの流れ（予定）

第1回準備委員会（今回）

立上げ全体会

第1回ワークショップ（11月下旬）

テーマ「目指す学園像」（1）

第2回ワークショップ（12月下旬）

テーマ「学園の場所」

第3回ワークショップ（1月頃）

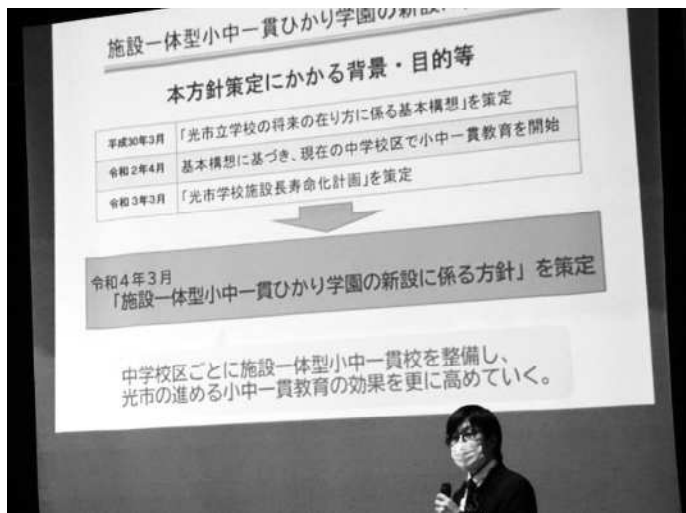
テーマ「協働的な学び」

第4回ワークショップ（2月頃）

テーマ「目指す学園像」（2）

第5回目（3月頃）

まとめ（ふりかえり）



これまでの流れ

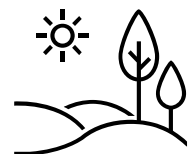
平成30年3月 「光市立学校の将来の在り方に係る基本構想」を策定

令和2年4月 基本構想に基づき、現在の中学校区で小中一貫教育を開始

令和3年3月 「光市学校施設長寿命化計画」を策定

↓

基本構想および長寿命化計画を踏まえ、小中一貫教育の教育効果をさらに高めるため、小・中学校の施設が同一敷地内で接続または一つに合体した「施設一体型小中一貫ひかり学園」の新設に係る方針を策定し、その具現化に向けてやまと学園の準備委員会を設置しました。





第1回はこんな会でした！

1. 伊藤教育長あいさつ

3つのキーワードをお示します！

子どもの学び

- ・学校教育の主役である子どもの学びを第一義において。
- ・大和ならではの最高の学びの環境を創っていきましょう。

連携・協働

- ・学校・家庭・地域の横のつながりにより、子どもたちの学びや育ちが豊かなものに。
- ・プロセスの共有が大きな力に。

地域の拠点

皆様方のお力添えを改めてお願い申し上げます。

- ・学び、交流、防災の拠点。そしてふるさとの拠点として。
- ・みなさんの誇りと感じられる「地域の拠点」となるように。

2. 委員長・副委員長の選任



委員長：宮尾智義さん

子どもたちの未来のために、地域のみんで汗をかき、知恵を絞り、大和地域全体で新しい学園をつくっていきましょう！

副委員長：的井勝巳さん

光市のモデルとして、大和地域が先行して取り組みますので、皆さんと一緒に良い学園をつくりたいと思います。



3. 準備委員会の役割

全体会（ワークショップ）で出た意見を部会で検討し、学園整備に活かしていきます。教育総務課 課長 吉永



4. 講演：地域とともにある「小中一貫やまと学園」～子どもたちの「学び」を第一義において～

講師：松田 靖 氏
山口大学大学院教育学研究科教授、準備委員会アドバイザー

小中一貫教育では、質の高い教育を目指して、以下の4つの教育環境の実現が期待されています。

- ①安心して生活することができる ②个性的に探究することができる
- ③繰り返し学ぶことができる ④高度に学ぶことができる

学校は地域の中にあります。地域の様々な取組なくして学校は成り立ちません。やまと学園ならではの最高の教育環境を実現するため、ここにお集まりのみなさんが当事者として関わり、その声を集めて、新しい小中一貫教育をデザインしましょう。

【デザインの5つの視点】

- ・小学生と中学生が共に高め合う
- ・小学校教職員と中学校教職員が共に働く
- ・9年間を通して成長する
- ・地域とともに育つ
- ・保護者もともに育つ



子どもたちの中に入れて、子どもたちを真ん中に据えて、大きな輪（大きな和→大和）をさらに大きく、確かなものにしていきましょう！



5. 大和の地域資源を活かした特色ある取組のソウゾウ



地域のみなさまとの協働で、大和地域の特色を活かし、飛躍させていきましょう！
伝統・産業・歴史・自然を活かし、今後のヒントとして事例やアイデアをご紹介しました。
教育総務課 主任 新谷

6. 今日の感想をみんなで共有

今日、聞いたことを踏まえ、近くの方と数人で、感想を共有しました。
ワクワクした気持ちが会場いっぱいにあふれました。



次回のごあんない（第1回ワークショップ）

日時：令和4年11月30日（水）
18:00～19:30

場所：大和コミュニティセンター（大ホール等）

お問い合わせ：光市教育委員会 教育総務課管理係（担当：清水）

TEL：0833-74-3601 FAX：0833-72-7202

確かな学力の育成に向けて

- ・児童生徒の自主的な学習活動を支える空間
- ・体験活動の充実のための空間
- ・表現力を育む活動を支える空間



写真 6-1 学習・メディアセンターでのICTを活用した学習の様子（兵庫県神戸市立西宮小学校・西宮南小学校）



写真 6-1 楽しく本を読んだり探し回っている様子（富山県立芝園小学校）

「新たな学校施設づくりのアイデア集」文部科学省

豊かな心を育てるために

- ・児童生徒同士の交流を生む空間
- ・豊かな芸術空間



写真 15-3 音楽教室に連続した屋外のステージ（茨城県大洗町立南中学校）



写真 16-2 ホールに展示スペースを（神奈川県川崎市立はるひ野小中学校）

「新たな学校施設づくりのアイデア集」文部科学省

健やかな体を育むために



写真 19-5 家庭教室と連続したランチスペース
(横浜市立荏原中学校)

- ・日常的な体力づくりや食育の充実のための空間



写真 17-2 前庭にあるアスレチック (福井県鯖江市立中河小学校)

「新たな学校施設づくりのアイデア集」文部科学省

地域コミュニティの拠点として

- ・地域と連携した活動が展開される空間
- ・誰もが集いたくなる空間



写真 25-1 自然環境に溶け込んだ木の学校 (三重県熊野市立入船中学校)



写真 26-1 ふれあいウイングを活用した地域連携のイベント (埼玉県戸田市立戸原小学校)

「新たな学校施設づくりのアイデア集」文部科学省

「新しい時代の学びを実現する学校施設の在り方について」最終報告【概要】

1人1台端末環境のもと、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に向けて、新しい時代の学校施設の在り方を議論

第1章 新しい時代の学びの姿

(1) 社会情勢の変化

⇒社会の在り方が劇的に変わる「Society 5.0時代」の到来
⇒新型コロナウイルスの感染拡大など先行き不透明な「予測困難な時代」

(2) 「令和の日本型学校教育」の姿

⇒中央教育審議会において、新しい時代の初等中等教育の在り方を検討
⇒教育再生実行会議において、ポストコロナ期における新たな学びの在り方を検討

学校のICT環境が整備され、1人1台端末環境のもと、全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実

(3) 「令和の日本型学校教育」の構築に向けた改革の方向性

- ・新学習指導要領の着実な実施
- ・9年間を見通した義務教育の在り方
- ・学校における働き方改革の推進
- ・地域社会や関係機関等との連携・協働
- ・GIGAスクール構想、ICTの活用
- ・多様な教育的ニーズのある児童生徒への対応
- ・少人数による指導体制の整備

第2章 学校施設の課題

(1) 新しい時代の学びへの対応の必要性

●ポストコロナ時代における学校施設という実空間の役割

⇒児童生徒にとって安全・安心な居場所を提供するという福祉的機能、社会性・人間性を育む社会的機能を有するなどの学校の持つ役割・在り方を再認識
⇒ポストコロナ時代において、子供たちがともに集い、学び、遊び、生活する学校施設という実空間の価値を捉え直す必要

●学びのスタイルの変容への対応

⇒ICTの活用などにより、学級単位で一つの空間で一斉に黒板を向いて授業を受けるスタイルだけでなく、学びのスタイルが多様に変容していく可能性が拡大
⇒空間・時間を越えて、様々な学習リソースに非同期にアクセスして学ぶことができるなど「非同期・分散」した学びのスタイルが広がり、これまでの「同期・集合」した学びのスタイルと往還する場面が展開されていく可能性も拡大

(2)～(4) 学校施設等における現状と課題

- ・これまでの学校施設の計画、教室面積、多目的スペース、空調設備の整備状況 等
- ・防災・減災、国土強靱化、耐震対策・老朽化した施設の実態、維持管理 等
- ・国・地方の財政状況、適正規模・適正配置等の実態、複合化・集約化の状況 等

第3章 新しい時代の学びを実現する学校施設の在り方

新しい時代の学びを実現する学校施設の姿（ビジョン）

Schools for the Future

「未来思考」で実空間の価値を捉え直し、学校施設全体を学びの場として創造する

「未来思考」の視点

- ① 学校は、教室と廊下それ以外の諸室で構成されているものという**固定観念から脱し、学校施設全体を学びの場として捉え直す**。廊下も、階段も、体育館も、校庭も、あらゆる空間が学びの場であり、教育の場、表現する場、心を育む場になる。
- ② 教室環境について、**単一的な機能・特定の教科等に捉われず、横断的な学び、多目的な活動に柔軟に対応していく視点（柔軟性）**をもつ。
- ③ 紙と黒板中心の学びから、1人1台端末を文房具として活用し多様な学びが展開されていくように、学校施設も、**画一的・固定的な姿から脱し、時代の変化、社会的な課題に対応していく視点（可変性）**をもつ。
- ④ どのような学びを実現したいか、そのためにどんな学び舎を創るか、それをどう生かすか、**関係者が、新しい時代の学び舎づくりのビジョン・目標を共有する**。

新しい時代の学びを実現する学校施設の在り方（5つの姿の方向性）

【新しい時代の学び舎として創意工夫により特色・魅力を発揮】

個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に向け、柔軟で創造的な学習空間を実現

- ⇒1人1台端末環境等に対応した机を配置し、多様な学習を展開できる教室環境の整備
- ⇒個別学習や少人数学習など柔軟に対応できる多目的スペース、学習支援、教育相談等の環境整備
- ⇒教職員のコミュニケーション・リフレッシュの場（ラウンジ）、映像編集空間（スタジオ）の整備

（教室・教室周辺の空間の改善・充実に関する創意工夫の例）



1人1台端末環境等に対応した機を配置し、多様な学習を展開できる教室環境の整備



多目的スペースの活用による多様な学習活動への柔軟な対応



ロッカースペース等の配置の工夫等による教室空間の有効活用

学び

生活

共創

安全

環境

新しい生活様式を踏まえ、健やかな学習・生活空間を実現

- ⇒居場所となる温かみのあるリビング空間（小教室・コーナー、室内への木材利用）
- ⇒空調設備の整備、トイレの洋式化・乾式化、手洗い設備の非接触化

地域や社会と連携・協働し、ともに創造する共創空間を実現

- ⇒地域の人たちと連携・協働していく活動・交流拠点として「共創空間」を創出
- ⇒地域の実情等に応じた他の公共施設等との複合化・共用化等

【新しい時代の学び舎の土台として着実に整備を推進】

子供たちの生命を守り抜く、安全・安心な教育環境を実現

- ⇒老朽化対策等により、安全・安心な教育環境を確保
- ⇒避難所として自家発電・情報通信設備、バリアフリー、水害対策等の防災機能を強化

脱炭素社会の実現に貢献する、持続可能な教育環境を実現

- ⇒屋根や外壁の高断熱化や高効率照明などの省エネルギー化、太陽光発電設備の導入の促進により、ZEB（ネット・ゼロ・エネルギー・ビル）を推進
- ⇒環境や地域との共生の観点から学校における木材利用（木造化、室内利用）を推進

全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実



新しい時代の学び舎として目指していく姿

「未来思考」をもった上で、「全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実」に向けて、**これからの新しい時代の学び舎として目指していく姿**を示す。

新しい時代の学び舎として創意工夫により特色・魅力を発揮するものとして、その中心となる「幹」に『学び』を据え、その学びを豊かにしていく「枝」として『生活』『共創』の空間を実現する。

また、新しい時代の学び舎の土台として着実に整備を推進していく「根」として『安全』『環境』の確保を実現する。

新しい時代の学びを実現する空間イメージ例（未来思考の視点を含む）

これからの学校施設は、新しい時代の学びを実現していくことを基本とし、それらを具体化する施設環境を創造していく

学び



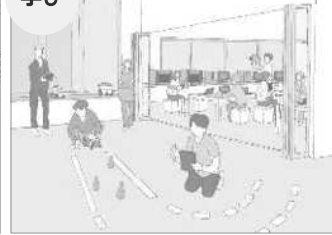
単一的な機能・特定の教科等に捉われず、横断的な学び、多目的な学びに対応できるよう、創造的な空間に転換していく姿

学び



学校図書館とコンピュータ教室と組み合わせて読書・学習・情報のセンターとなる「ラーニング・コモンズ」としていく姿

学び



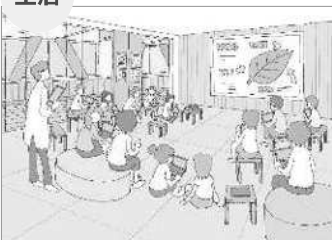
教室と連続する空間も活用し、高機能のコンピュータ室を専門的で高度な学びを誘発する「デザインラボ」としていく姿

学び



映像編集やオンライン会議のためスタジオ、情報交換や休息ができるラウンジなど、円滑に業務を行える執務空間としていく姿

生活



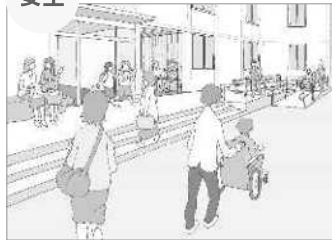
木材を活用し温かみのあるリビングのような空間の中で、壁面の工夫やベンチ等を配置し、豊かな学び・生活の場としていく姿

共創



地域コミュニティの拠点として、地域や社会の人たちと連携・協働し、ともに創造的な活動が展開できる共創空間としていく姿

安全



長く使い続けることができるように安全性を確保し、子供たちの学び・生活の場、地域のコミュニティの拠点としていく姿

環境



省エネルギー化や再生可能エネルギーを導入等を積極的に進め、環境教育での活用や地域の先導的役割を果たしていく姿

第4章 学校設置者における推進方策

今後も増加する膨大な老朽化施設の現状等を踏まえ、教育環境向上と老朽化対策を一体的に図る長寿命化改修等を積極的に推進していくことをはじめとした具体的な方策を提言

（1）長寿命化改修を通じた、新しい時代の学びを実現する教育環境向上と老朽化対策の一体的な推進

- 安全・安心な教育環境を確保しつつ、新しい時代の学びを実現していくため、長寿命化改修等を通じ、教育環境向上と老朽化対策の一体的な整備を積極的に推進

（2）首長部局と協働した、中長期的視点からの計画的・効率的な整備の推進

- 教育委員会と、まちづくり部局や財政部局、環境部局、防災部局等の首長部局との横断的な検討体制を構築
- 中長期的な将来推計を踏まえ、計画的・効率的な施設整備を推進（将来変化に柔軟に対応できる施設、将来的な他用途への転用、複合化・共用化等）

（3）多様な整備手法等の活用と、施設整備と維持管理の着実な推進

- PPP/PFI手法を含め、民間活力を活用した施設整備・維持管理を積極的に推進
- 計画的に施設の点検・修繕等を行い、不具合を未然に防止する「予防保全」型の管理へと転換

（4）学校関係者等の参画による豊かな学びの環境整備の推進

- 学校施設の計画・設計において、学校設置者と設計者だけでなく、新しい学びの担い手である学校の教職員など関係者が参画した施設づくりを促進、プロポーザル方式の導入推進等

第5章 国における推進方策

新しい時代の学びを実現する学校施設の整備を着実に進めるための具体的な方策を提言

（1）新しい時代の学びを実現する学校施設整備の方向性（目標水準）の提示

- 2020年代を通じて目指す、新しい時代の学びを実現する学校施設整備の方向性を目標水準として整理

（2）教育環境向上と老朽化対策の一体的整備の事例収集・分析

- 長寿命化改修等を通じ、教育環境向上と老朽化対策を一体的に整備している好事例について、ボトルネックとなる課題の解決策とあわせて積極的に周知

（3）学校施設整備のための財政支援制度の見直し・充実

- 安定的・継続的な予算確保
- 国庫補助単価を含めた財政支援制度の更なる見直し・充実

（4）新しい時代の学びを実現する学校施設整備の技術的支援の充実

- 学校施設整備・活用のためのプラットフォームを構築（事例・ノウハウの発信、専門家派遣等）
- 先導的モデル研究等を通じた新たな学校施設モデルの提示

（5）学校施設整備指針の改訂

（6）普及啓発、適切なフォローアップと更なる調査研究等の実施

子供たちにとって「明日また行きたい学校」となるために、そこに集う人々にとっても「生き生きと輝く学校」となるために

やまと学園小中一貫教育

教育目標：確かな学びと、豊かな人間関係を互いに培い、

未来を担う力を備えた子ども育成

【研究課題】 小学校と中学校の「学び」のつながり

～確かな学びと豊かな人間関係の確立をめざした小中一貫教育～



15歳の大和っ子像

大和を愛し、未来にはばたく大和っ子

- 自分が好き、人が好き、大和が大好きな子ども
- 感謝の気持ちを持ち、さわやかなあいさつができる子ども
- 夢や希望を持ち、努力を惜しまない子ども

やまと学園小中一貫教育の充実をめざす3つの視点

地域とともに小中一貫教育の充実をめざすために

- ① 9年間の「学び」のイメージの共有
- ② 適時性と連続性の理解
- ③ 協働型実践

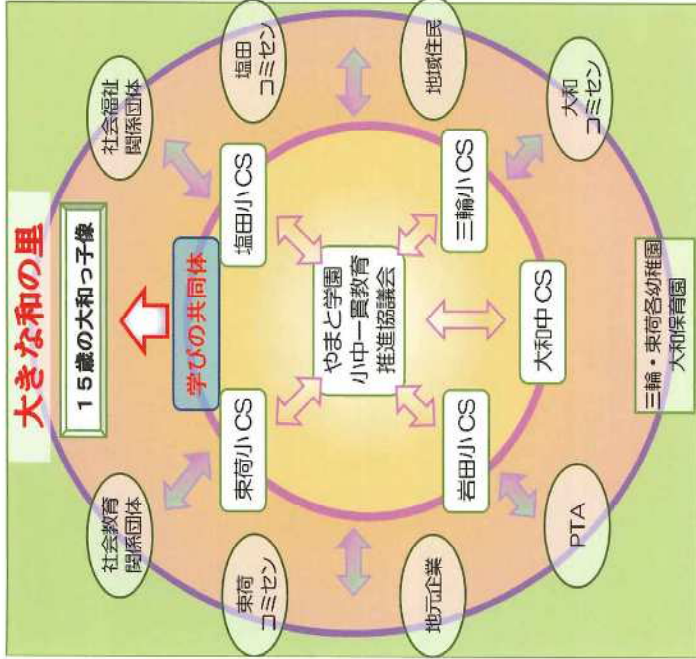
コミュニティ・スクールを活かす3つの視点

各小中学校のコミュニティの機能を活かして参画するために

- ① すべては子どもたちの未来のため
- ② 子どもと大人の「つながり」
- ③ Win-Winの関係性

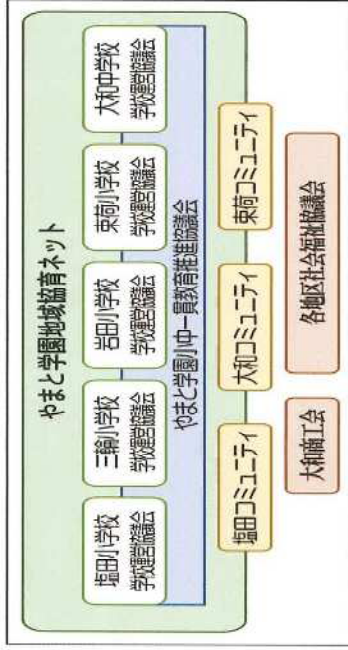
大きな和の里

～小中一貫教育と大和地域との文化の融合をめざして～



やまと学園地域協育ネット

大和地域総がかりで子どもたちの学びや育ちを支援し各校の取組の更なる充実を図ることで保護者や地域がやまと学園の教育に対する意識を高める



やまと学園小中一貫教育推進協議会

小中一貫教育会議

小中一貫教育運営会議

各部会

小中連携部会

知育部会

徳学部会

体育部会

地域連携部会

子ども部会

連携・協働

各校CS・地域教育ネット・光市教委

各会議・部会の取組

小中一貫教育会議 (年2回)

小中連携教育に関する基本構想、事業及び研修の計画等について決定する。

教育運営会議 (年3回)

春の全体会、夏の熟議と、秋の研究発表会の進め方について、具体的な内容を協議し決定する。

各部会 (年3回)

小中一貫教育の取組について検討し実践の具体策を決定し実践を踏まえた検証を行う。

知育部会・徳学部会・体育部会および地域連携部会を組織する。

子ども部会 (年1回)

15歳の大和っ子像の実現に向け、子どもたちの取組を提案する。

定期の研修会

春季研修会 (食糧) 夏季研修会 (働) 秋季研修会 (働)

研修の方向性に各部会で熟議を研究授業での検証と協議、見直し、具体的な取組の協議

やまと学園小中一貫教育・地域連携協働カリキュラム

地域の支援を得て進める各校の特色を
いかした取組です。



幼稚園	前期			中期			後期		
	小学1年	小学2年	小学3年	小学4年	小学5年	小学6年	中学1年	中学2年	中学3年
塩田小	いざいぎサロン ときどきまちたんけん サツマイモ苗植え	ふれあい民話 ふれ合い卓球 ふれあい給食 安全マップ作り	塩田の民話 まほらはジュニア福祉員 石城太鼓	石城山登山	石城山登山	石城山登山	抹茶体験 職業講話	浴衣着付け教室 職場体験	菊栽培 保育実習
三輪小	三輪小遊祭に招待しよう	三輪校区の自慢 点字を学ぼう	三輪校区の自慢 点字を学ぼう	三輪校区の自慢 点字を学ぼう	番組をつくろう 命を守る(着衣水泳・陸上) 命を守る(赤十字救命救急) 健康について考える	番組をつくろう 命を守る(着衣水泳・陸上) 命を守る(赤十字救命救急) 健康について考える	民生委員とは 安全マップ作り 見守り隊	高年齢者声掛け訓練	
岩田小	岩田っ子まつり 焼き芋パーティー	三輪小遊祭 されいな歌声で歌おう	三輪小遊祭 されいな歌声で歌おう	まほろば訪問 岩田小歴史探訪	田植え&どろんこ会 竹細工 しめ縄・門松づくり 岩田地区大感謝祭	田植え&どろんこ会 竹細工 しめ縄・門松づくり 岩田地区大感謝祭	体育祭 運動に親しむ交流会	文化祭	
東荷小	キラキラタウンつかり あんぜん・あんしん登下校	伊藤公園で遊ぼう 大和苑訪問	伊藤公園を知らず 東荷の自然	伊藤公園を知らず 福祉について 受けつがれる東荷神舞	めざせ伊藤公マイスター 自分や地域の将来の姿	めざせ伊藤公マイスター 自分や地域の将来の姿	里帰りあいさつ運動 地域貢献活動・母校清掃 グリーン光 ハートフルデイ人権参観日	文化祭 大和コミュニティ文化祭	

各校の特色をいかした取組

各部会の重点課題

知育	学力向上 特別支援教育	学んだことを伝えよう(ノート検定) 自分や他の人の良さを見つけてよう・伝えよう
徳育	道徳教育 キャリア教育	他校の友だちと交流し、友達の良さに気づいたり友達の輪を広げたりしよう 自分や友達の良さを発信し、地域の人とつながりをもとう
体育	健康維持体力向上 安心安全 地域連携	メディアの使い方を考え、健康の維持・増進のために積極的に行動しよう(ノーメディアデー) メディアと正しく付き合おう(正しい使い方とルール作りを家族と一緒に) はじけるスマイルあいさつ運動(里帰りあいさつ運動)



ときどきまちたんけん
三輪小遊祭
合同避難訓練
石城太鼓
ハナナ園訪問
花いっぱいの日
めざせ伊藤公マイスター